



耐久高等学校同窓会報

耐久



NO. 3

旧制有田高等女学校 玄関

齊藤勇吉元教諭(祐橋)画

新制高校発足後も昭和44年6月迄玄関としての大役を果たしてくれた、思い出多き建造物の一つである。

幹事会開催

平成10年10月17日 (土)



当日は朝から、台風十号の接近による悪天候のため多数の欠席連絡があったにも拘わらず、学校長とPTA会長の来賓参加をはじめ高女・中学・高校の幹事の方々多数が参加されました。会の冒頭、全国大会十四年連続優秀賞を受賞したマンドリン部(創部二十六年)の演奏発表があり、いつもと違った幹事会となり、若い後輩の瑞々しい演奏に全員が心を奪われ、うっとりとしたひとときを過ごし、会では前向きな質問や建設的な意見が出され、盛会裏に終了することができました。以下にその要点を箇条書きします。

- ・ 同窓会組織の強化、創立百五十周年に向けての取り組み
- ・ 同窓会館の建設、その他を具体化すべく取組中である。(二部は実行中)
- 《具体的な取り組み》
 - ・ 幹事・評議員の見直し(各期の組織の充実)
 - ・ 同窓会新名簿の作成計画
 - ・ 創立百五十周年記念事業の計画(式典・募金ほか)
 - ・ PTAとの協力事業
- 《今後の事業計画》
 - ・ 百五十周年記念事業実行委員会の設立
 - ・ 会報の継続的発行と紙面の充実
 - ・ 母校援助(全日制十万円、定時制五万円)の継続
 - ・ 新図書館内へ同窓会記

- ① 同窓会組織については、組織の充実・強化の一環として、新役員で幹事・評議員の見直しをして現在の名簿を作成したが、やむを得ない事情等で変更しなければならぬときは、各期の責任で幹事・評議員の変更も可とする。
- ② 事業活動については、一昨年の総会での活動目標(組織の強化、創立百五十周年に向けての取り組み、同窓会館の建設、その他)を具体化すべく取組中である。(二部は実行中)
- ③ 同窓会報「耐久」についてはは作製料等それに関わる費用一切を賛助金(広告料)で賄っており、五千部を発行している。
- ④ 会報配布については幹事・評議員には全員に郵送(その他は手渡し)、その郵送料をできるだけ節約するための意見を募ったが、いまのところ妙案はなし。(地域割りして配布のご意見もいただいた)
- ⑤ 百五十周年にむけて、それになさわしい同窓会新名簿の作成を了承していただく。
- ⑥ 新名簿作成予定会社、関西廣濟堂(大証二部上場の優良企業)の視察訪問報告と新名簿の概要(単価五千円、発行冊数二、五八〇冊、七〇六頁等)を紹介し、今後KK関西廣濟堂と調査・作成・発刊に関する具体的取り組みを進めていくことへの了承。

ハート満杯!

同窓会活動(経過)

- 10.7.18 会報No.2発行 (5,000部)
- 7.24 役員会②
- 10.9 田辺高校訪問(会長、辻岡)
- 10.14 関西廣濟堂視察訪問(会長、太田、辻岡)
- 10.17 役員会③
- 10.17 幹事会(於 会議室)
- 12.2 役員会④
- 12.5 PTAと共催 教育講演会
講師(谷口維紹 東大教授)
- 12.11 名簿発刊委員会
(太田委員長、宮井、橋本、辻岡)
- 12.19 (株)関西廣濟堂と「同窓会名簿」の製作委託契約
- 11.2.25 役員会⑤
会報No.3発行 (5,000部)
- 2.26 新会員の評議員と懇談会(会長)

私達同窓会の新名簿作成作業開始!

- ① 各期幹事さんに調査依頼中
- ↓
- ② 3月に個人調査(往復ハガキ)発送
皆様のご協力をお願いします。
- ③ 平成11年4月発刊 ¥5,000

人事新報社より再三にわたりハガキが来ているようですが、これにまだわされないうれぐれもご注意ください。
学校・同窓会とは何ら関係ございません。

祝 創立150周年 (2002年)

関西廣濟堂が貴校150周年記念事業のお手伝いをさせていただきます。

株式会社 関西廣濟堂

豊中市養池西町2-2-1
TEL (06) 6855-9241
URL: http://www.k-kosaido.co.jp

母校の飛躍発展を!

山形大学のキャンパスより
津村 建四朗 (高4期)

教育講演会

東大教授 谷口維紹博士を招く！
演台「大学における研究と教育」



さる十二月五日、東京大学医学部教授の谷口維紹博士（高18期）をお迎えし、PTAと共催で教育講演会を開催しました。

清水町出身の博士にとって当時の耐久高校は文化の象徴そのものであり、そこで学べたことの喜びが熱っぽく語られ、「耐久で受けた教育が今日の自分を形成している」とまで話されました。特に博士の考え方の基本となつている老荘思想の「無用の用」（一見役に立っていないものが実は大変役に立っていること）は耐久で教えられたことであり、現在学問の世界や色々な所において一見役に立ちそうにないものとか目に見えないものの価値がおろそかにされていることや研究のこと・大学のこと等、多岐に

わたり話されました。

そして最後にパスツールの有名な言葉「用意された心をもっている人にチャンスは訪れる」が紹介され、どういう考えを持ち、どういう哲学をもつて研究（努力）するか偉大な発見・成果（結果）につながることを、そして個性豊かな獨創性をもつことまたそれを育てることの大切さがいかに重要であるかが指摘されました。

無用の用

講演の最後に恩師の花畑先生から、博士の高校時代のエピソードが紹介され会場は拍手と爆笑の渦に包まれ会は終了しました。博士の講演を聴き終え、博士の飾らない親しみ易い人柄や分かり易い言葉に深い肝銘を感じるのと共に、本校の歴史と伝統の重みと教育の果たすべき役割の大きさをかんがえさせられました。 [事務局]



PTAとの共催事業

講演を聴いて



二年八組 桐谷 高弘
講演の中で特に印象深かったのは、教授が「目に見えてこないもの大切さ」について語られたことです。教授は在学中、長い歴史と伝統に培われた目には見えない良い雰囲気（文化）を学校の中に感じられていたそうです。ところが現在の風潮は目に見えるものばかりが重視され、目に見えないものの重要性が軽視されており残念であると話されていました。いまの耐久高校には目に見えない良い雰囲気というのは薄らいでいるような気がします。学校に限らず色々なところで目に見えないもの大切さが忘れ去られている気がします。そんな時だからこそ「目に見えないもの大切さ」を大切にしていきたいと思います。

中学第二十回卒業
法眼晋作氏
奥様の手紙より

私の父金森誠之は、旧制耐久中学の第二回卒業生でございました。宝山良雄校長の時代で、全寮制であったとか。父は大変ないたずら者で、理科室の棚を倒したり、木馬を燃やした時は危なく退校になるところだった、と聞いたことがあります。

父の同級生からは五人、当時の東京帝国大学に入学され、瀬藤様は確か、東大教授になられ、父は昔の内務省の役人でございました。

戦前の耐久中学は、海辺の松原の中のとほんと良い学校でした。私も子供のころは、天州の浜でよく泳いだものでした。



同窓会文庫の充実を！

有田市糸我町
伊藤 弘一 (高4期)

◇耐久高校生の勉強室◇ 文部省認定 英検/漢検 準会場

湯浅英数学院 吉備金屋英数学院

湯浅町871-1 TEL.0737-63-4799 吉備町徳田4-5 TEL.0737-52-6014
西浦 眞元 (高23期)

あらゆる旅行のご斡旋

きのくに観光社

圓生 一夫 (高3期)
湯浅町大宮通り TEL. 63-5252

二の丸温泉
湯浅町山田1638-1
TEL.0737-64-1826
イッヅロ

株式会社 石油検定社

(海洋・船舶・石油検査機関)

代表取締役 海事鑑定士 (一級海技士) 梓谷 安浩 (高18期)

本社：石油製品・化学品分析センター (神戸) TEL (078) 392-1191

FAX (078) 391-6287
支店：和歌山・横浜・ロンドン・釜山

南紀熊野体験博 地酒 くまのみち 醸造元

高垣酒造場

高垣 淳一 (高35期)

特集

「耐久中学・高校に学んで半世紀」

山形大学理学部教授 津村建四朗



開きながら読んだ記憶があります。

その年の十二月二十一日の夜明け前に、南海道地震が発生し、広も約五メートルの大津波に襲われました。広の街は「悟陵さんの土手」に護られて無事でしたが、

私は昭和八年に広村（現広川町）で生まれましたので、本校の創始者である浜口悟陵が安政の昔に築かれた「土手」（史跡・広村堤防）とともに、県立耐久中学校の校庭は、子供の頃からの遊び場でした。

その耐久中学校に入学したのは、終戦の翌年の昭和二十一年です。前年の夏までは、「お国のために立派に死ぬ」教育を受けていたのが、占領下の米国直輸入の「民主主義」教育に一変した時代でした。当時の先生方はかなり困惑されたのではないかと思いますが、私達には意外とすぐに適応してしまつたように思います。食べ物も、物資も乏しく、しばらくは教科書も、製本も裁断もされていない分冊として少しずつ配られ、切り

中学校はその外側にあるため、校舎は流失は免れたものの、浸水して内部はめっちゃめちゃになり、グラウンドは打ち上げられた砂で厚く覆われました。私は避難の途中で津波に遭いましたが、危機一髪で逃げのび助かりました。広村の死者は二十二人で、校長夫人も亡くなりました。この体験と小学校で学んだ「稲むらの火」とが結びついたことが、その後、防災の仕事を目指すことになった私の原点だと思います。

津村 建四朗先生のプロフィール

母校耐久高校140周年に記念講演を担当された氏は昭和8年（1933）広川町に生まれ、34年（1959）京大理学部を卒業、同年建設省（国土地理院）に入省、東大地震研究所助教授・気象庁地震予知情報課長・福岡管区気象台長・気象庁地震火山部長を経て、1994年から現職。

昨10年10月（於 広川町）第8回全国沿岸市町村津波防災サミットに於いて「稲むらの火と地震津波防災」と題した基調講演を行い、その必要性を強張された。一方、日本の地震予知批判を英国の科学誌ネイチャーに発表した東大理学部助教授ロバート・ゲラー氏との対論はTVでも放映、昨年1月の朝日新聞にも掲載され話題を呼ぶ。我が国地震学界での大きな存在でもある。

生でした。先生は、大学から地震計を借り受け、校内に建物を建てて設置され、私達地学部員を指導して、観測を続けられました。地震計を備えた高校は今でもほとんどないと思います。さらに、地震予知研究のために京大で開発されたばかりの傾斜計や伸縮計の観測も引き受けられ、栖原や由良の観測壕にご自身で毎週通って記録紙の交換をされました。私も先生のお手伝いでお伴をさせていただき、大学の先生方との会話を傍らでできながら、最先端の研究現場に触れる機会を与えていただきました。

そんなこともあって、先生の強いお勧めもあり、京大を受験し、運良く合格して、地球物理学を専攻しました。卒業後、建設省国土地理院、東大地震研究所、気象庁と職場を変えました。研究や地震・津波防災の仕事にかかわってきました。阪神大震災でも明らかになつたように、地震予知は未だ難問ですが、気象庁の津波予報や地震情報は随分早く出されるようになりました。

この間、中学・高校時代を通じて自ら選んだ目標を見失うことなく、一貫した流れで人生を送って来られたことを幸せに思っています。

戦後半世紀、あの荒廃からは想像もできなかった復興・発展を遂げ、物質的には豊かな日本となつて長い年月が過ぎました。しかし、

 <p>熱帯魚&器具 etc.</p> <p>中紀ペット</p> <p>西邑 孝 (高4期)</p> <p>御坊市本町(千寿堂・2F) TEL (0738) 24-0133</p>	<p>吉井鍼灸接骨院</p> <p>吉井 義郎 (高4期)</p> <p>本院: 吉備町庄 TEL 52-3500 広川診療所: 広小学校前 TEL 63-0445 有田川分院: 有田市星尾 TEL 88-7598</p>	<p>建材・金物・住設機器</p> <p>星畑商店</p> <p>星畑 文勇 (高4期)</p> <p>那智勝浦町朝日3-166 TEL (0735) 52-0103</p>	<p>精神的には徐々に荒廃してきたようにも思います。今は現在、山形大学で教育に携わっていますが、豊かさは当然という環境下に育つて、「自分のことしか考えない」現在の学生達に、「稲むらの火」の物語と実話を紹介して、私財を投じて村人を救い、百年後の村を護つて下さった母校の創始者の精神をすこしでも伝えたいと努力しています。</p>
--	--	--	--

創立九十周年回顧 昭和十七年にタイムスリップ!

世界が第二次世界大戦の渦にまきこまれ、日本も緒戦の勝利に酔っていた昭和十七年五月、耐久中学校は創立九十周年の記念式典を迎え、学校を挙げて祝賀一色の日々を過ごしていた。

当時の様子を窺える資料(創立九十周年記念号)が手元にある。やがて百五十年を迎えようとする今、その内容の一部を抜粋して紹介するのも意義あることと愚考し筆を執った次第。

◎ 記念事業

- ☆ 記念式典↓五月九日
- ☆ 県下中学校角力・剣道大会↓五月十日
- ☆ 記念マラソン大会↓五月十一日

尚、期間中「先賢遺墨展」「興亜館開館」等が開催され盛況だった。

式典は校長式辞に始まり県知事告辞・文部大臣祝辞と続く破格の式典だった。

午後の講演も豪華な顔触れで、いずれも校友の土岐政藏氏(和商教授)・田中武雄氏(前拓務次官)による時局講演で青少年の意気を鼓舞する内容だったが

当時一年生であった筆者は聴講した記憶がない。

一方スポーツ大会の記録を見ると、現在各界で活躍されている方の名前も散見され、大変懐かしい。

さて、これらの記念行事に要した経費はどれ位?と思うのが凡人の常。その辺を調べて見た。

ご多分に洩れず、父兄会・校友会・学校の三者による準備会が持たれ、事業計画や経費についての協議がなされた。

論議の末、経費については父兄・校友・一般からの寄付を仰ぐことになり、有田郡内より一万円・郡外より一万円、計二万円と目標を設定し、募金活動に突入したのだった。

結果は、郡内はもとより外地(旧名)朝鮮・台湾・満州・支那・昭南市からの分も含み、合計二万二千三百八十八円の浄財が寄せられ、目標を大幅に超えるというものであった。

これらは、勿論式典の経費だけでなく、皆のあこがれの的であったグライダー(二機)の購入はじめ、映写機・暗幕等の設備、図書を購入、記念冊子の発行他に

充てられた。

その後グライダーは、ある時はグラウンドで、時には有田河畔の河川敷に遠征して飛行訓練を重ね、私達の大空への夢をふくらませてくれたのだった。皆さんの中にもイチニイチニイツと牽ゴムを引つ張られた方も多くおられることでしょう。でも、あのグライダーの末路は哀れでした。戦後の占領政策により、焼却処分され、私達の目の前で、あつという間に灰燼と帰したのだった。

華々しい記念行事を境に戦禍は拡大し、国民一般はもとより、学校生活にも暗い影が及び、卒業生は戦場へ、在校生も学徒動員に駆り出され、学習はもとより楽しかるべき学園生活も十分にエンジョイできず、苦しかったけれど懐しい「中間運動」「寒稽古」「夜行軍」も今は遠い夢!

クローバーの草むらが四百メートルのコースを画して私達の憩いの場であった運動場も、戦争やその後の災害の為に芋畑と化し、やがて敗戦!そして学制改革。耐久高校の誕生となる訳だが、その間煩雑な状況の中

で百周年をはじめ、その時々々に意義ある事業が行われてきた。

全国に例を見ない伝統と誇りを胸に、半世紀以前の耐久中学校の盛儀に想いをいたし、当時の意気込みを糧に創立百五十年、そして二十一世紀を迎えたいものである。

【当時の在校生の方々は現在六十八歳〜七十四・五歳になられてるはず。本誌ご一読され、その所感やエピソードなどお持ちの節は編集部までご一報下さい。次号より会報で紹介いたします。】

(斉藤 記)



昭和17年当時の耐久中学校職員

懐かしい先生です。何人お判りでしょうか?

国内旅行はトップツアー
海外旅行はジャルパック

旅行(国内・国外)のお申込みは

東急観光

和歌山支店 Tel. 0734-25-3211
担当 戸石昌男(高17期)

紀伊田辺支店 Tel. 0739-24-2800
担当 島田幸樹(高40期)

50円の鉛筆からOA機器まで
事務機械・スチール家具・事務用品・測量機器

ミカサ事務機

有田市古江見114
TEL (0737) 82-4188(代) FAX (0737) 83-0704

三共機械(株)

本社 湯浅町湯浅1511
TEL (0737) 63-1192

御坊営業所 御坊市湯川町財部646
TEL (0738) 22-7798

鍋・割烹 **江戸銀**

江川和志(高19期)

和歌山市紀三井寺840-39-106(メゾン山水)
TEL(0734)48-2501 FAX(0734)48-2502

手造り湯浅醤油
たまり味噌
油揚げ
醤油
金山寺
高尾
紀州名産
各種
各州

八百年の伝統
湯浅醤油

株式会社 **小原久吉商店**
小原久良

本店 TEL (0737) 62-2149
国道店 TEL (0737) 63-1358



有田高女 京阪神支部同窓会記

有田高女京阪神支部同窓会は平成十年十月二十五日大阪市中央区の割烹湖月で開かれました。

京阪神地区には一期生から二十九期生まで四百余名が在住して居られますが、一番お若い方でも六十五才と高令者ばかりです。前回平成八年から今回迄に八名が亡くなられて年々淋しくなるばかりです。

当日、御高令の松本先生は豊橋市から前日来阪され御出席下さいました。先生は皆様にお逢いできるのがとても楽しみで励みにな



るとおっしゃって居られます。竹中カズ代先生は大阪は不案内だからと心配されていましたが、湯浅から二十二期の伏木様が同伴して下さいました。浦先生は堺市在住でいつも楽しい気分にして下さいます。会員の出席者は七期生一名、十五期生二名、十六期生四名、十八期生二名、二十期生五名、二十二期生三名、二十四期生二名、二十五期生十二名、二十七期生一名の計三十二名でした。

十月に入っても雨が多くお天気が心配でしたが好天に恵まれて何よりでした。一堂に会した皆様は本当に若々しく女学生気分に戻りお話が弾んでいました。十一時半から十六時迄の四時間余は短く、お別れするのが名残り惜しい一日でした。支部会に初めて御出席下さった方は「次回にはお友達を誘って是非出席したい。」と云ってくださり最高の気分でした。

次は二年後ですが、皆様御健康に御留意なさって一人でも多く御参加下さいませよう願っています。

保田龍門先生の絵について

同窓会報第二号の表紙を飾っている保田龍門先生の絵を拝見して、この絵が有田高女に入手の経緯について今は知る人も少ないと考え、私の記憶に残る思い出を記したいと思います。

あれは永野義徹校長（昭和七年〜十三年）の時でした。校長が那賀中学在任中より昵懇と云う保田先生の講演会がありました。先生はその頃から彫刻家として名をなしている方と聞きましたが、講堂に飾る絵をその時お願いしたのだと思います。平和を象徴する「裸婦」は薄着をまとった絵になって絵心もない私にも清々しい温もりを感じさせたことを覚えています。校長はよい絵だが裸体が透けて見える絵は生徒の前に掲げられない、もう一度書き直していただくこと云われ、次に書いたのが「みかん摘む少女」の絵です。現代から見れば滑稽なことでしょうが、そういう時代だったのですね。名をなした大家がお怒りにもならず二度三度と絵筆を揮ってくださった大きなお

心に感激したことでした。永野校長とは余程お親しかったのでしよう。先生の愛弟子が絵の先生として有田高女にお勤めでしたから。こうして「みかん摘む少女」の絵が講堂に掲げられ、日に日に厳しくなる世相に一幅の清涼剤となつたと思います。

後日話ですが、有田高女に長く勤められた北山谿太先生の源氏物語辞典完成のお祝いの事が教え子の間で持上り、肖像画か胸像の案も出たので今思っても汗顔の至りですが、保田先生にお伺いに行きました。伝手もなく唯有田高女に勤めていたというだけの名もなき者に快くお会いくださり「教え子の美しい心に感じ協力しましょう」と云ってくださり、「一週間ばかり泊まりこみでデッサンしなければならぬが、先方の御都合はどうかと聞いてくださいました。その時分北山先生は体調を悪くして一時間でも坐っていられないから辞退するとのことでしたが、私は中止になりましたが、私は自分の失礼を恥ずかしく思うと共に往時と思ひ合わせ龍門先生はこんな立派な人格者だったんだなと感服した事でした。（松本やゑ子）

和歌山県果樹育苗組合
組合長 上野山 英樹

源 苗木
有田市千田327
TEL (0737) 82-2227

有田高等女学校 80周年 記念総会

と き：平成11年5月9日(日) 10時より
と ころ：耐久高校・体育館

※総会終了後各期別同窓会（随所）

発泡スチロール 成型・加工
星田化成工業株式会社

星田 邦弘
有田郡吉備町賢18
TEL (0737) 52-2006
FAX (0737) 52-6104



高第三期生同窓会雑感

今年の気候はとかく不順。猛暑を引きずって例年になく暑さの混ざった秋となった。そんなわけで錦秋というにはいささか趣きの違った十月二十五日、和歌山市内、京橋詰めの「うお市楼」に四十五名が集まった。まずは盛会というべきか。

最近では、一年半から長くても二年ぐらいの周期で開いているが、集まるたびに常連のほかに一人か二人、必ずといっていいほど珍しい友に出会う。卒業以来初めてという人もいて、世話人としてこれがまたたまたまなく嬉しい。反面、鬼籍に入った友の訃報を伝える切なさは言外である。

十二時半から始まった宴会はまさに談笑の渦、思いのたけを三時間余に凝縮していつも乍らの密度の濃いものとなった。楽しい時間は短いものだ。特に遠来の人達には申し訳ない気持ちを残しながら「東雲なびく」校歌とともに午後四時閉会した。

例えば五〇年前、男女共学という衝撃的な出会いとともに、学年全体で一六〇



名弱という少人数が必然的に家族のような強い絆を醸成した。そんな気安さ、暖かさがいつも各人の心の中に生きていて、一年も経てばそろそろ集まろうということになって今に続いている。順序からすれば次は一泊でということになるのか。最後に、欠席の通知のなかに「体調思わしくなく」という数が年々増えている。一日も早く元気を取り戻してほしい。次回での再会を願うや切である。

(高3期 林 美喜男)

＝ 35年振りの友との出会い ＝

遠く離れての初めての同窓会、何となく参加したのですが、会場に一步入った瞬間学生時代の呼び名で呼ばれ、忘れていた何かが、一気に戻って来るような、そんな気持ちになりました。こちらでは呼ばれた事が無い、呼び名で。有田弁で。本心に心地良い響きでした。お元気な先生方にもお会い出来、部活の話で盛り上りました。今迄振り返る機会も無かった青春時代の出来事が懐しく楽しく思い出され本心に嬉しい居心地の良い一時でした。これは何だろうと思いました。今迄の人生の半分以上は九州で過ごして来て、同郷の人が居なくても寂しくもなく、不自由でもなく自然に過ごして来て、でもそれとは違つた別の居心地の良さが有り、温もりの様な物。これが故郷の良さなのだろうと感じました。

私が申し訳なく思ったのは皆さんのお顔と名前が解らなかつた事です。同窓会前にアルバムでも広げて少しは記憶を戻しておけば良かったと後悔しています。



高校15期



(橋本千佳子)

この次の機会にもぜひ出席させて頂きたく楽しみにしております。

末尾にはなりましたが、私達の誇りである耐久高校の益々の御発展をお祈り申し上げると共にお世話頂いた世話人の方々に厚く御礼申し上げます。

<p>有田市箕島駅前通り まるまん食堂 電話 (0737)83-3164(代)</p>	<p>24時間営業のコンビニエンスストア</p> <p>有田・初島店 福島 修 (高36期)</p>	<p>— 寝具一式 —</p> <p>浜部ふとん店</p> <p>有田市箕島183 TEL (0737)82-2068</p> <p>フードセンター</p> <p>— 有田金屋橋東詰 — TEL (0737)32-2004 フリーダイヤル 0120-32-2004</p>	<p>スナック あま美</p> <p>湯浅町庁舎横 (2F) TEL (0737)63-6504</p>	<p>問屋 池上商店</p> <p>有田市箕島五四七七 〇七三七八二一三五七七</p>
---	--	--	--	---

団塊の世代

「海の日」の七月二十日、

高校十八期の二回目の同窓会が開かれ、恩師は、浦(旧姓花畑)、佐藤、芝田、寒川、野田、長谷、森、山本の各先生。同期の桜は一四六名の参加でした。十八期会長の小畑(旧姓市間)英三氏より、「社会の重要な担い手として、五十代の我々の責任は大きい。人生を大切に生きよう。」との挨拶で始まり、期一同より同窓会に大枚が寄附されました。同期の星で、私たちの誇りである谷口維紹博士も参加し、お話をされました。当時を思い出せば懐かしい。五十五人のすし詰め学級で、足が廊下にはみ出す程の過密さ。昼の弁当時、男子は皆、校舎外で立ち食い。雨も傘をさして食べる。列車の車窓からその光景を目にした校長が赤面したとの裏話もあった。

戦後の経済成長を支えた半導体が生まれた頃に私達は誕生した。そしてふと気付くとバブルが崩壊し、足元を見つめ直している。競

うだけでなく、共に生きる大切さを痛感する昨今ですが、同窓会で友の元気な姿に励まされるのが嬉しい。

いまは肩肘はらずしなやかに頑張り、二十一世紀には、何があっても動じない程の気力で生き抜こうと思います。子育てと老親の介護から開放され、ゆとりある人はパワーを注ぐ対象を模索していることもわかりました。副会長 坂本美恵子さんの挨拶で閉会しました。お世話下さった方々に改めて感謝申し上げます。

五年後の再会がとても楽しみです。皆様の健康を心から祈っています。

福永幸子(旧姓田中)



高六期在京同窓会だより

十数年前から毎年開いている高六期在京同窓会は昨秋十一月に横浜で開催されました。

大阪から新幹線で駆けつけた人もあり中華街で四川料理を囲んでにぎやかにお互いの元気を確かめ合いました。

メンバーの中には同時に入学しましたが途中で転校して一緒に卒業出来なかつ

た三人、戸田(有)戸田(穎)荒木君もいますが「たたえよ耐久われらが母校」と校歌を合唱すると母校愛に燃えて胸が熱くなるのはみんなと同じだと言っていました。

今年は東京で開く予定です。在京に拘らず全国の高六期の皆さんの参加を歓迎します。連絡は〇三三九二一七二七中村まで。

(中尾美智子 記)



甲子園へ!
プレープレー
TAIKYU

球想会(高4期)
五百崎博己
上野山和夫
川口昌彦
中邑信五
橋本佳巳

Q&P会の開催

待ちに待っていた片山津温泉、良いお天気に恵まれて、先生はじめ元氣な皆様

にお会い出来、那谷寺に参拝したり、ゆのくにの森に行けたりと短い時間でしたが修学旅行気分が良い思い出になりました。(記:城山泰三子さん)

この同級会は昭和三十九年度一年A組(担任・野崎英雄先生)在籍者で、担任の野崎先生に非常に迷惑をおかけしたり、また、強く深い印象が残っている、それにキューピーに似ている(失礼)ということ命名、約二十年前から先生をお招きして開催しているものです。

(会長は竹中将喜氏)
平成になつてからは二年



毎に四回開催しています。毎回三十名近い方々が出席され、今回は北陸でした。(幹事は二沢宏生、大久保豊昭両氏)。

次回の開催は還暦の年の予定です。今後、皆元氣で、できる限り続けられますよう、参加者全員で誓い合いました。(文責 坂口)

天然温泉・紀州備長炭 サウナと

魚茶屋
日本一 太刀魚寿司の美味しい館
有田市星尾37 TEL. 0737-88-5151

カラープリント・APS・スピード仕上・各種記念写真・出張撮影

フォトショップ ユピア
湯浅町湯浅1852 (ユピア1F) TEL (FAX) 63-2170

下林善信税理士事務所
税理士 下林善信(高19期)

和歌山市西汀丁二六番地
和歌山県経済センタービル5F
TEL 〇七三三三二五九
TEL 〇七三三三二五九
FAX 〇七三三三二五九

絆 硬式野球部の巻

OB会長 下野憲英 (高13期)

我が硬式野球部は六年後に、明治三十八年に創部以来百年目を迎え、三年後の耐久創立百五十周年と共に大きな節目を迎えます。

OB会員も新制高校発足から三二〇名を数え各方面で活躍されています。

私達は毎年総会等を開き長い間培われた目に見えない歴史と伝統を誇りとし、互いに甲子園を目指し猛練習に励んだ日々などの思い出を語り合います。そして後輩達が充分活動できるように、また、私達が成し得なかつた甲子園出場の夢を託すべく積極的な支援を誓います。

夏の選手権大会の前に会員からご厚志を賜り部活動を援助するとともに球場のスタンドでは、試合展開に呼応して応援席が揺れ選手との一体感、応援席での連帯感にあふれています。

年二回の「OB会だより」を発行して、部の活動や会の運営、母校の現状について伝えたり、ゴルフ愛好者



1998.11.1 有田東急C.C.

によるゴルフ大会も開き楽しいひとときを過ごします。このような活動のなかでお互いの連携と交流が深められ連帯感が生まれると思います。しかしながら昨今若いOBの皆さんとの交流が薄いので、練習への手伝いや総会等への積極的な参加を望んでいるところです。いずれにせよ私達が互いのつながりを深めることが、同時に母校への関心をもつことになり、微力ながらも支援につながるのではないかと思っています。

いつの日か歴史と伝統を誇る我が母校を全国に紹介し、甲子園のアルプスタンドでの同窓会、同球会を夢んでいます。



俳壇

・丹頂の 朱の冠に 牡丹雪
・釣糸を 垂る寒風の 海の上
栗山昌子「職員」

・たちあふひ 吾に学徒の 頃ありて
・八重桜 迂回してゆく 路線バス
堀川マリ(高女26期)

歌壇

・主張もつ子の輝けき未来視て
赤きシクラメンの鉢ひとつ買ふ
・ヒアシンスかすかに香る朝の門
受験に向かふ子の掌握りぬ
中内京子(高15期)

・苔庭にひたすら赤きななかまど
夕暮せまる京知積院

・暴走の果てに死したる教え子の
遺影は笑みぬ母に抱かれ
福永幸子(高18期)



Echo!

・谷口維紹博士の講演会
開催有難う。私は先生の
一年後輩ですが、高校
時代に受けた情熱的な
授業が、いかにその後の
研究生生活に役に立った
かを拝聴し同じ思いを
抱くと共に同世代に耐
久で学んだ事を誇りに
思っている。(西 博義)

・同窓会花ざかり、各々
バラバラにやっていた
ものが一紙に集約され
るとおもしろい感じが
ワアを感じます。
・存命中の最長老をも訪
ねてほしいもの―夢は
広がります。
・何時も乍ら小野陽子さ
んのコメントには勇気
を頂きます。紙面を借
り厚くお礼申し上げます。

『編集後記』

世紀末に産声をあげた新しい同窓会報も第三号を発行することができました。組織の強化・活性化・情報交換を目的とした会報作りが順調に進められるのかという当初の不安も、会員の皆様そして本会へご理解・ご協力していただいている方々の力強く、温かい励ましのお陰でなんとか続けていけそうな手応えが掴めてきました。特に各期からの「同窓会情報」(写真・便り・浄財)は皆様方のお元氣な様子や叱咤激励の氣持がよく分かり、我々編集委員一同を「頑張らなくちゃ!」という気にさせてくれます。皆様方の「元氣」を頂いて次号四号作成に取り組みたいと思っています。乞うご期待!

そして今回も、色々多忙な中、執筆・投稿していただいた方々、またこの厳しい不況下で賛助広告を快く引き受けていただいた方々に心より感謝申し上げます。

※No.2の歌壇、畑中邦雄氏は旧中三十七期です。お詫びし訂正致します。